

職員による自己評価

A環境面

教室は常に除菌等も行われ清潔に、明るく保たれている。CO2 濃度測定器や空間除菌機なども設置されている。

B児童への支援内容

毎日のミーティングで児童の情報を共有し、その日の療育内容について話し合い、各児童のレベルに応じた適切な指導をし、自己肯定感を育てている。

C関係機関との連携

引続きコロナでオンライン部会が多かった。早く直接会って情報交換できるようになることが待ち遠しい。

D保護者への説明責任・信頼関係

送迎サービスはないので、通所日に保護者にその日の療育内容をきめ細かく報告している。必要に応じて適切な助言や支援をしている。

E非常対応

入所時にアレルギーや持病について確認している。毎年、春と秋に避難訓練を予定している。

保護者による評価

A環境面

子どもの学習スペースは、適切に確保され、コロナ対策のため各机にデスクガードが設置され、CO2 濃度測定器や空間除菌機なども設置されている。

B児童への支援内容

児童ひとりひとりの特性やレベルに合わせ、保護者と連携を取りながらきめ細かく療育指導してもらい満足している。

C事業所からの情報発信

ホームページや毎月発信されるあさがお通信から情報を得ている。

D非常対応

目の前の小学校が指定避難場所のため、避難しやすく安心して居る。ヘルメットや被害用補助備蓄品の用意があると聞いている。

事業所内での分析

【共通点】

デスクガードや CO2 濃度測定器・空間除菌機を設置することにより、保護者からも安心して通所できると満足していただいている。

療育内容については、保護者からも概ねご満足いただいている。

【相違点】

遠方から通所の保護者からは、送迎サービスの希望がある。

分析・検討してみて…

事業所の強み

事業所全体で、子どもたちの特性や能力に合わせて適切な課題を検討し支援している。毎回、自己肯定感が高まるようにきめ細かく、子どもたちに合わせて支援している。送迎の際、その日の療育状況を保護者に報告し、子どもの療育に活かしている。

事業所の改善点

情報の発信について、今まで以上に保護者にわかりやすく伝えられるように改善していく。

事業所の改善への取り組み

情報を発信していても見逃している保護者も見受けられるので、今後は、ひとりひとりに確実に伝わるよう工夫していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

療育内容や日々の保護者対応については、多くの保護者から信頼とご満足をいただいています。集中力がついた、離席がなくなった、指示が通るようになったなどのお声をいただいています。これからも、職員一同、創意工夫しながら子供たちの療育に励んでいきます。